

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

秋

昭和十八年八月三日

一、鉄鋼資材需給ニ関スル件

⑥

工事ノ鉄鋼資材ノ需給
工事ノ鉄鋼資材ノ需給
工事ノ鉄鋼資材ノ需給

建設局

設

局

鐵鋼資材關係ニ関スル件

民需鐵鋼資材ノ需給ハ戦争ノ決戦段階突入ト共ニ益々緊迫シ、其ノ統制機構、才藝モ亦一段ト強化セラル、現在及將來ニ於ケル鐵鋼資材ノ取得ハ實ニ深刻ナ困難性ニ逢著シテキルノデアリマス。

普通鋼材

先ッ普通鋼材ニ付テ之ヲ見マスルニ列表第一ノ示ス通り昭和十七年度ノ取得量ハ合計五九、一七〇。噸デアリマシテ、其ノ実數ニ付考察致シマスニ、概用トシテ一三、二五二。噸、補修用トシテ八三三、三九二。噸ヲアリマシテ、我社ノ要求量ヨリハ折外レニ少ク、之ヲハ到底所期ノ生産量充ヲ完遂スルコト不可能ナルハ自明デアリマス、就テハ所望用トシテ一、九七一。噸、供出鋼材ニ〇、五五五。噸ヲ取得シテ合計五九、一七〇。噸ヲ確保シ各位ノ適切ナル消費規正ト相俟ツテ昭和十七年度ヲ推移シタノデアリマスガ、昭和十八年度ニ於キマシテハ上述ノ理由ニ依リ愈々資材取得ノ困難ヲ豫想サレ、鐵鋼統制會ヨリ内示サレマシタ豫定量ハ概用一〇、

七七八。噸、補修用ニ三、〇〇〇。噸トナツテ平ルノデアリマス。ケレドモ、第二、四半期マデノ割當量ハ僅ニ概用ニ、三ヒ九。噸、補修一〇、〇〇五。噸デアリマシテ、此ノ程度ノ數量ヲ概充工事業行ニ一大支障ヲ招来スル譯デアリ、今後ノ増産ハ期待シ得ナイノデアリマシテ当社ノ実情ヲ再三吟味當局ニ開陳シ、ハ橋滞貨鋼材中ニ一、八四四。噸ヲ取得シタノデアリマスガ、然シ下ラコレニテモ未ダ当社ノ要求ヲ充シ得ルトハ言ハナイノデアリマシテ、第三、第四、四半期ノ割當増配ヲ極力要求中デアリマス。

鐵 鉄

次ニ鉄型、鑄鐵、ワール及機要用鐵鐵ノ需給狀況ニ付テ申上ケマスト、鐵鉄ハ列表第二表ノ示ス如ク大体支障ナキ程度ノ割當ヲ受ケテ来タノデアリマスガ、今後益々窮乏ニナルノハ必至デアリマシテ、例ハバ機要用鐵鉄ニ付テ之ヲ見マスルニ、昭和十七年度ニ於マシテ八一四半期ニ平均約二、五〇〇。噸程度ノ割當ヲ受ケテ居タノデアリマスガ、本年度第一四半期ニ八一、七〇〇。噸、第二四半期ニ八一、三〇〇。噸ノ割當デアリマシ

テ、之ニ付テハ最低各期三、〇〇〇圓ハ是非トモ確保致シ度目下統制会
ト折衝中デアリマシテ、大体取得シ得ル見込デアリマス。

特殊鋼

特殊鋼ニ就キマシテハ需給ノ状況ハ最主順ニ逼迫致シマシテ昭和十七
年度第四、四半期ニ在リテハ要求量ノ五分ノ一程度ノ割当ニ過ぎズ加フ
ルニ深刻ナ現物入手難デアリマシテ各作業所ノ困難ハ想像ニ餘アルモノ
ガアリマス、建設局ト致シマシテモ入手方法ニ付種々攻究中デアリマス
ガ、商工省金屬局ニ於マシテモ刻下ノ実状ニ鑑ミ重要物資管理運営ニ供
出ノ特殊鋼ヲ十八年度ニ割当テル豫定ニナツテ居リマスガ之トモ現下
ノ需狀ヲ打開スルニ足ラザルモノト謂フベキデアリマス。

従来特殊鋼ノ自家生産ニ在リマシテハ限定生産鋼種以外ノモノノ製造
ハ禁止サレテ来タノデアリマスガ当社ニ於キマシテハ今後相当ノ鋼種ニ
渉ル自家生産ノ割当ヲ受ケル必要ヲ痛感スルノデアリマシテ、之ニ付テ
モ目下統制会ト連絡中デアリマス。

三

鍛鋼

鍛鋼ニ関シマシテハ現在迄ノ如大体系求通リノ割当ヲ度々比較的問題
ノサナイ困難デアルト考ヘテ是ル次第デアリマス。

四

鑄鋼

鑄鋼ニ就キマシテ付デアリマスガ、新承知ノ通り本件ニ関シマシテハ需
給統制規則ノ改正ヲ見越シ七月一日ヨリ実施中デアリマシテ、自家発生
屑使用ニ依ル原料自給鐵道ヲ認メラレズ、加フルニ配給割当量モ相当量
ノ削減ヲ覓ルニ到リ、機械ノ計畫生産実施ト相俟ツテ今後更ニテ從前通
リノ配給割当ヲ取得シ得ルマ疑問デアリマス。

購入用ノ鑄鋼ハ従来ヨリ割当量ハ極メテ僅少デアツタノデアリマスガ
各作業所ハ事前ニ製造家ト充分ナル連絡ヲ取り遺憾無キヲ期セラレタイ
ノデアリマス。

結語

以上之ヲ要スルニ鉄鋼資材ノ供給ハ戦争ノ決戦状態熾烈化ニ伴ヒ今後
益々逼迫ガ豫想サレルノデアリマシテ、他面刻下ノ最大急務タル生産力
増進ノ要請ガアリ、此ノ間ニ処スル資材確保ノ問題ハ極メテ重大ト謂フ
ベキデアリマス。

然ルニ各位ニ於カレマシテハ此ノ難局ニ処スルニ熱烈ナル創意ト工夫
トヲ以テシ、生産ハ却ツテ上昇ヲ辿ツテ本ル状態ヲアリマシテ私共ハ假
ナキ心強サヲ感ズルノデアリマスガ、茲ニ各位ノ熱誠ナル御支援ニ依リ
此ノ資材難克服ニ挺身シタイト企願シテ已マス次第デアリマス。

普通鋼材需給調査表

(別表第一)

年度別 通算	年度別 通算	十七年度		十八年度		備考
		採掘	消費	採掘	消費	
第一、四半期 (4-6)	採掘	3,846		5,733		① 供出鋼材
	消費		④ (16,590.5)			② 取得廢型鋼
第二、四半期 (7-9)	採掘	3,717		1,796		③ 八幡節貨鋼材
	消費	6,222	② (15,725.0)	4,000		④ 松島内、陽重運
第三、四半期 (10-12)	採掘	4,436				手入
	消費	6,500				
第四、四半期 (1-3)	採掘	1,153				
	消費	6,000				
小計	採掘	13,252	⑤ 10,778			
	消費	23,392	23,000			
修正		1,971	1,263			
合計		20,555	⑥ 21,844			
		59,170	56,855			

鐵帶需給調査表

(別表第二)

年度別 通算	年度別 通算	十七年度		十八年度		備考
		採掘	消費	採掘	消費	
第一、四半期 (4-6)	採掘	2,662	23,552	3,691	35,205	9,078
	消費	5,000	12,540	3,120	25,960	1,700
第二、四半期 (7-9)	採掘	8,210	22,809	4,963	35,982	7,808
	消費	5,000	12,000	3,260	25,260	1,300
第三、四半期 (10-12)	採掘	5,067	26,025	5,069	36,161	5,491
	消費	4,200	12,200	3,396	25,726	
第四、四半期 (1-3)	採掘	7,875	21,724	5,037	34,686	
	消費	3,014	14,000	2,818	20,632	
合計	採掘	29,714	94,110	18,810	142,634	
	消費	17,214	62,240	12,594	92,648	

特殊鋼需給調査表

(別表第三)

四半期別	年度別	十				八			
		申請量	割当量	納入量	在庫量	申請量	割当量	納入量	在庫量
第一、四半期 (4-6)		223-	112-	65-	(155-) 44-	366-	203-	0	(366) 203-
第二、四半期 (7-9)		328-	136-	39-	(289-) 92-				
第三、四半期 (10-12)		246-	205-	135-	(111-) 90-				
第四、四半期 (1-3)		435-	89-	0	(485-) 89-				
計		12283-	5421-	2422-	(10040-) 300-				

()ハ申請量ト納入量トノ差額ヲ示ス

72

10

鍛鋼需給調査表

(別表第四)

四半期別	年度別	十		八		備	考
		申請	当	申請	当		
第一、四半期 (4-6)		1,610-	1,610-	964-	964-		
第二、四半期 (7-9)		1,382-	1,382-	1,117-	1,117-		
第三、四半期 (10-12)		1,125-	1,125-	1,081-	1,081-		
第四、四半期 (1-3)		1,209-	1,209-				
計		5,326-	5,326-				

鑄鋼需給調査表

(別表第五)

年 度 別 半 期 別	十七年度	十八年度	備 考
	甲 請 当	乙 請 当	
第一、四半期 (4-6)	7,227	7,266	① 鑄鋼統制規則改正ニ 依リ本期入割当ナレ、 本件ハ、ハ幅ニテ ル係有現品ニテ目 下統制会へ使用許可 申請中ノモナリ
第二、四半期 (7-9)	2,690	4,998	
第三、四半期 (10-12)	4,378	4,067	
第四、四半期 (1-3)	5,855		
計	2,327		
	甲 請 当	乙 請 当	
計	5,030		
	甲 請 当	乙 請 当	
計	50,159		
	甲 請 当	乙 請 当	
計	1,289		
	甲 請 当	乙 請 当	

特殊鋼需重量及割当表

期 別	需 要 量	割 当 量	既 納 入 量	残 量
17-4-6	223,258	112,399	64,642	44,757
17-7-9	327,204	135,618	39,454	96,164
17-10-12	246,228	205,359	134,522	70,837
18-1-3	484,671	88,876	0	88,876
18-4-6	365,894	202,924	0	202,924
合 計	1,647,855	745,176	241,618	503,558

鍛鋼品需要量及割当量表

年月日	八幡	輪西	釜	石	富士	大坂	廣	畑	兼	浦	清	澤	合 計
17-4-6	241,720	228,616	-	-	13,620	19,255	430	945	14,000	-	-	-	1,609,956
	244,724	228,616	-	-	13,620	19,255	432	945	14,000	-	-	-	1,609,956
17-7-9	1,053,063	274,925	17,760	2	5,770	19,209	214	908	23,872	22	55	138,198	
	937,063	274,925	17,760	2	5,770	19,209	214	908	23,872	22	55	138,198	
17-10-17	974,252	31,809	-	-	2,500	13,992	90	859	12,000	-	-	-	1,124,662
	956,675	31,809	-	-	2,500	13,992	90	859	12,000	-	-	-	1,106,985
18-1-3	924,776	177,618	27,310	18	5,266	24,611	31	155	6,000	-	-	-	1,209,296
	872,244	118,630	29,310	3	2,570	24,611	3	300	6,000	-	-	-	1,055,946
18-4-6	570,359	28,047	98,376	3	5,577	16,525	189	525	20,000	-	-	-	964,329
	570,193	28,047	98,376	-	-	16,525	179,785	20,000	-	-	-	-	942,326
18-7-9	622,411	43,330	60,960	18	833	42,850	325	208	-	-	-	-	1,179,972
18-10-12	537,228	97,377	51,245	15	000	-	349,644	30,000	-	-	-	-	1,071,054
合 計	5,524,009	7,542,922	237,651	74	536	136	960	1,632	444	105,872	22	55	8,428,997
	4,112,495	5,546,377	123,446	21	870	93,094	912	1,757	75	872	22	55	5,982,920

61

川

昭和十七年度補修用所需鋼材

設備別	所別	八幡	輪西	釜石	冒士	大坂	廣畑	計
製鉄		7,049	1,968	1,188	—	—	1,280	11,485
製鋼		1,586	254	813	38	237	491	6,417
圧延		4,549	4	970	80	405	681	6,689
其他		5,080	1,422	3,112	51	385	759	10,809
計		21,264	3,648	6,083	167	1,027	3,211	35,400

鑄鋼品要配状況調

昭和17年(4-6)～昭和18年(10-12)

期別	区別	自家製造	購入品	合計
17年(4-6) 第一期	申請 生産時 要配量	4,163,567 3,255,000 4,160,000	3,063,567 — 1,309,000	②7,226,934 (3,255,000) 5,460,000
17(7-9) 第二期	申請 生産時 要配	4,010,510 3,240,000 4,050,000	4,679,406 — (特)325,000 4,050,000	8,689,916 (3,240,000) 4,375,000
17(10-12) 第三期	申請 生産時 要配	3,194,065 3,540,000	2,661,444 3,025,000	5,855,499 (3,540,000) 3,025,000
18(1-3) 第四期	申請 生産時 要配	4,335,534 3,502,000 (特)2,000,000	4,051,945 — 3,030,000	8,387,449 (3,502,000) 5,030,000
18(4-6) 第一期	申請 生産時 要配	3,747,580 3,502,000	3,515,668 —	7,263,248 ④3,502,000
18(7-9) 第二期	申請 生産時 要配	3,385,000 3,385,000 3,385,000	1,613,405 — 682,027	4,998,405 — 4,067,027
18(10-12) 第三期	申請 生産時 要配	未着手	—	

昭和十七年度ニ於ル機殻鑄型定盤、口一ル用鑄製需給表

年 期	区 別	機 殻 用	鑄 型 定 盤 用	口 一 ル 用	合 計	請 求 率 %
17年 4-6	申請 生産時 要配	8560 — —	2,3532 — —	3691 — —	35,815 — —	92%
17 7-9	申請 生産時 要配	5,000 — —	17,290 — —	3,120 — —	25,960 — —	92%
17 10-12	申請 生産時 要配	5,000 — —	17,000 — —	4,963 — —	35,963 — —	70%
18 1-3	申請 生産時 要配	5,067 043 —	26,024 919 —	5,069 — —	36,160 962 —	71%
18 4-6	申請 生産時 要配	4200 — —	18200 — —	3,396 — —	25,796 — —	71%
18 7-9	申請 生産時 要配	7275 280 —	21,224 — —	5,087 — —	34,626 280 —	60%
18 10-12	申請 生産時 要配	3,013 700 —	14,800 — —	2,813 — —	20,631 700 —	60%
19 1-3	申請 生産時 要配	9,077 922 —	22,323 — —	4,813 — —	36,208 942 —	68%
19 4-6	申請 生産時 要配	1,700 — —	2,096 — —	3,000 — —	24,796 — —	68%
19 7-9	申請 生産時 要配	7208 418 —	23,990 — —	4,783 — —	35,981 418 —	68%
19 10-12	申請 生産時 要配	1,300 — —	19,000 — —	2,605 — —	22,905 — —	63%
20 1-3	申請 生産時 要配	5,491 038 —	27,234 — —	5,029 — —	37,754 038 —	